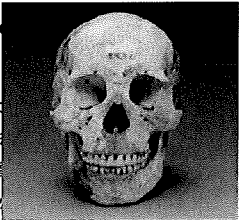


新し

特徴

- 新しく半島や大... 人々を渡来人という。
- 特に弥生時代... を渡来系弥生人と呼ぶ。
- 山口県土井ヶ浜... で、渡来系弥生人と思
- われる人々の骨... なる。
- 縄文時代の人々... なる。
- 顔高が高く、エラは発達しない。
- 全体的に面長で、鼻が低く、のっぺりとした顔つき。
- 身長が高い。成人男性で163センチほど。



渡来系弥生人の復顔想像図

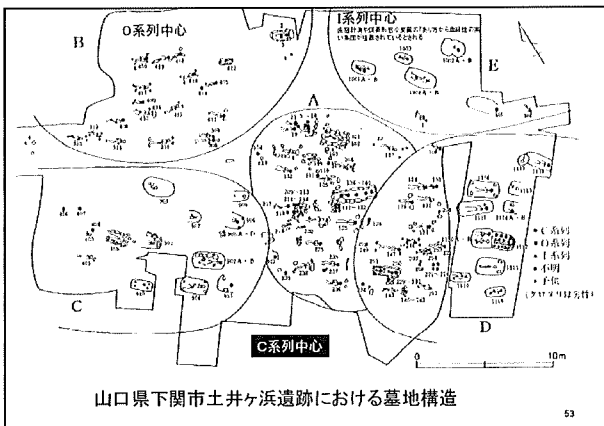


渡来系弥生人は

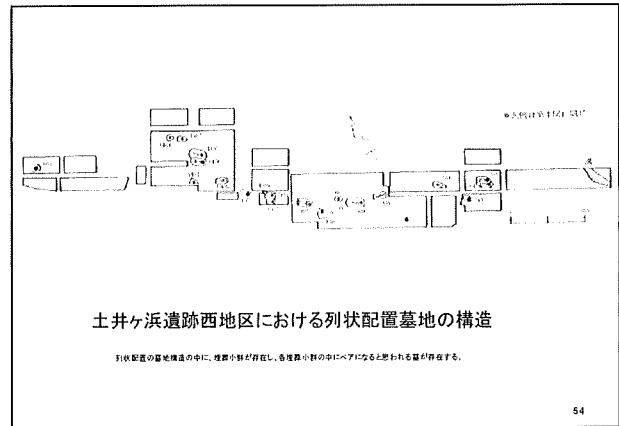
どのような墓制を有していたのか？



山口県土井ヶ浜遺跡における人骨の出土状況



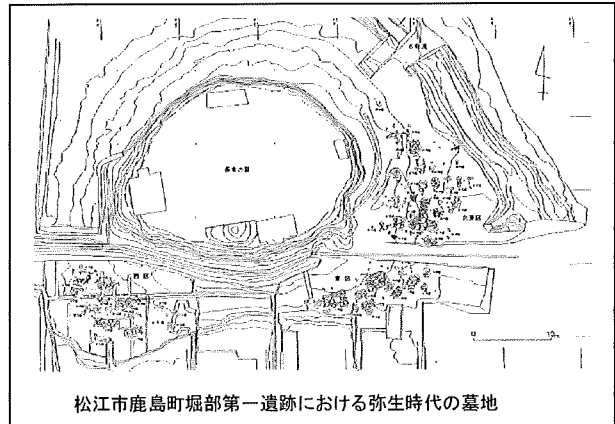
53



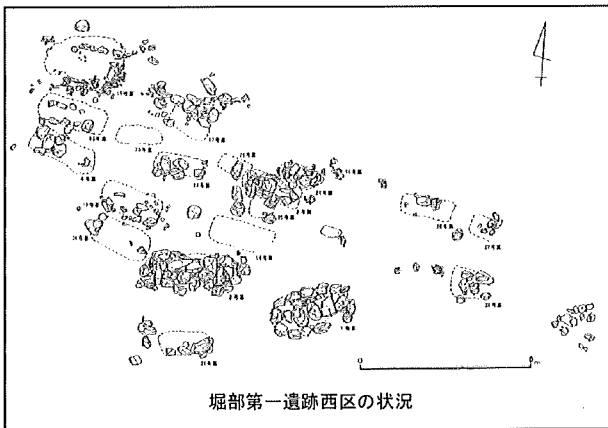
54

弥生時代になって登場した墓

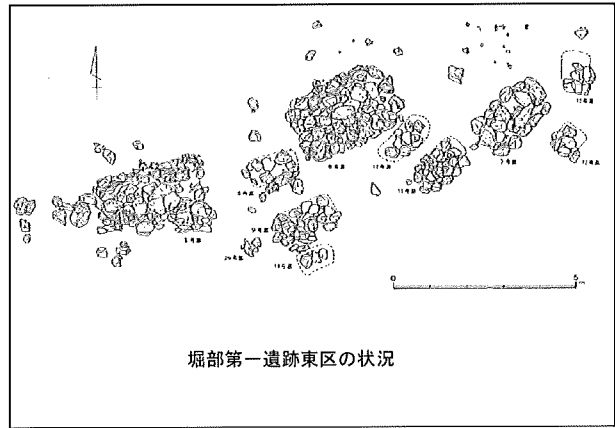
- 列状に墓が配置されている。
 - 頭位が一定の方向に向いている。
 - これらの墓からは渡来系弥生人の骨が出土することがある。
- 縄文時代にはなかった新しい墓制



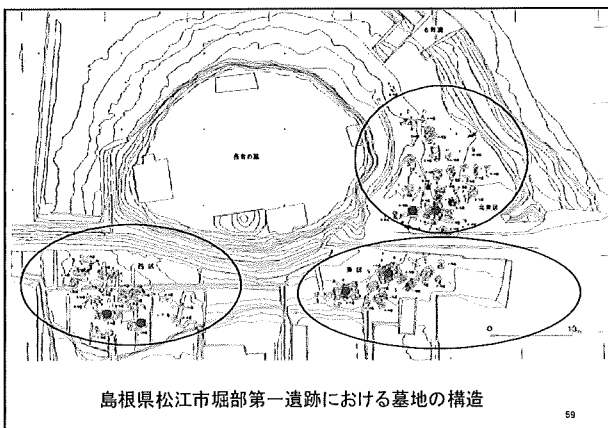
松江市鹿島町堀部第一遺跡における弥生時代の墓地



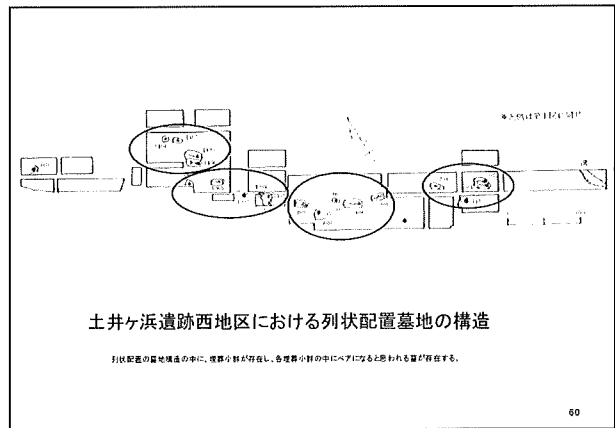
堀部第一遺跡西区の状況



堀部第一遺跡東区の状況

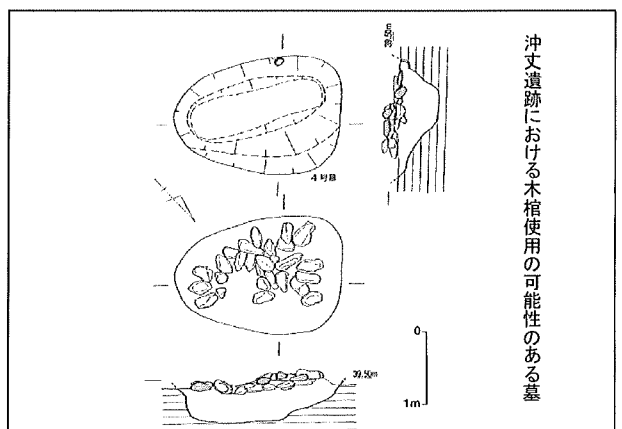
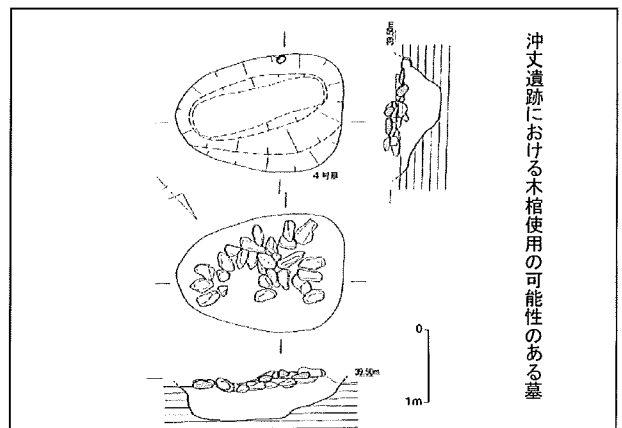
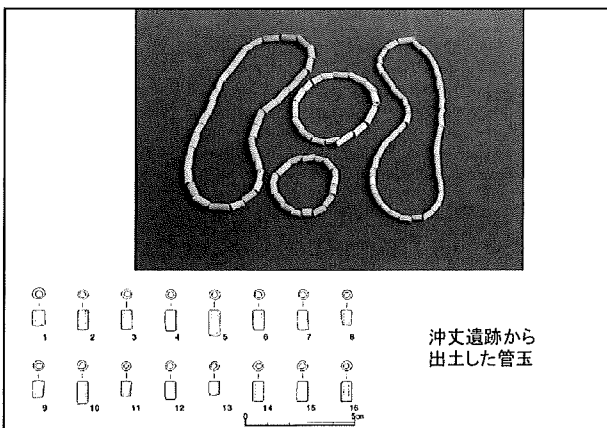
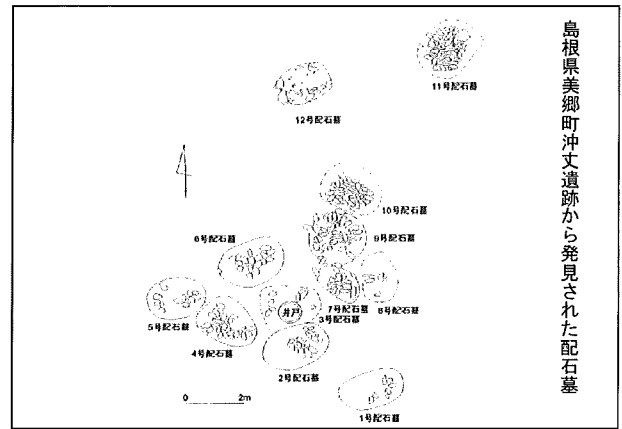
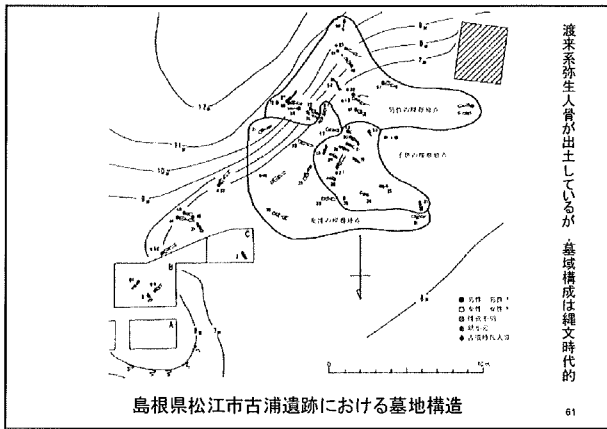


島根県松江市堀部第一遺跡における墓地の構造



土井ヶ浜遺跡西地区における列状配置墓地の構造

列状配置の墓地構造の中に、横断方向が存在し、各埋葬小群の中にへアになるとと思われる墓が存在する。



山陰地方の弥生時代の墓地

- 渡来系弥生人骨を出土する墓がある。
- 渡来的な要素を持つ墓地と、縄文時代的な要素を持つ墓地が存在する。
- ところが、よく調べてみると、この両者は排他的な関係にあるのではなく、一遺跡の中において、むしろ融合した状態にある。

お墓からみた山陰地方

- このことは、集落内において渡来系弥生人と縄文系弥生人が共存し、お互いの墓制を融合させたことを意味している。
- 山陰地方においては渡来系弥生人が一方的・排他的に生活圏を広げたのではなく、むしろ在地の縄文系文化の人々と融和的な状況を造り出したと想定される。

講演のまとめ

- 弥生時代になって、新たに日本列島にやって来た渡来人は、縄文人とは全く異なった形質をもった人々であった。
- 渡来人とともに、新しい技術、習俗、墓制が入ってきた。
- しかし、山陰地方においては、在地の人々と対立するのではなく融和し、その後につながるユニークな文化を形成した。

参考文献

- 山田康弘2000「山陰地方における列状配置墓域の展開」『島根考古学会誌』第17集。
- 山田康弘2014「山陰地方における弥生時代前期の墓地構造墓制からみた縄文／弥生の様相」『国立歴史民俗博物館研究報告』第185集。

ご清聴ありがとうございました